

薬物乱用防止教室授業＜5・6年＞R6.2.27（火）5校時

学校薬剤師を務めてくださっているムラタ薬局の代表薬剤師の村田 久典様に来ていただきました。「薬」の種類や効能や副作用、「薬物乱用」の意味、薬物乱用が健康に及ぼす影響などについて、DVDを見た後、資料に沿って詳しく説明していただきました。



子供たちの感想 ※一部抜粋

【子供たちが一生懸命話を聞き、子供たちなりに真剣に考えた様子が感じられます。】

- 薬局などで買った正しい薬でも、いっきに多く飲みすぎると、薬物乱用になってしまうということがよくわかった。
- 1回の薬物乱用だけで人生がこわれることについておどろいた。薬物はあまくみたらだめだと思った。
- 今日の学習で、薬物乱用すると体に悪いえいきょうが出て、やめようとしてもやめられなくなるのがわかりました。友だちや親など、身近な人がきっかけで薬物に手を伸ばすことが多いので、断ることが大切になることも学びました。
- 「食間」というのは、ごはんを食べたあと2時間くらいたって、おなかがすき始めたころということを知った。
- 薬物は体にどのようなえいきょうがあるのかを知りました。おどろいたことは、薬物やいちどやってしまったら、頭から薬物のことがはなれなくなってしまうことです。視力が低下したり、成長が止まってしまったりするので、私は薬物を絶対にしたくないです。
- 薬物を乱用したら、いぞんしょうになることも初めて知った。薬物の使用をすすめられたら、今日のことを思い出してしっかりことわりたいと思った。
- 痛みをやわらげてくれる薬もあって、薬はいいものだと思っていたけれど、世の中には脳をおかしくさせる薬もあって怖いなと思った。
- 薬の量や種類をまちがえると取り返しのつかないことになるとうわかった。私は頭が痛いときに薬を飲むので、気をつけようと思った。
- なぜ薬物は危険なのに、かんたんに手にとることができるのか疑問。